この時代「何をする？」よりも、「誰とする？」の方が重要です。

CONTENTS

大分県全図……01
農村民泊……02
グローバル人材育成プログラム……06
環境学習……08
キャリア教育……10
見学・体験施設……12
大分のオルレ・コース……16
団体向け食事施設、バス会社……17
大分の歴史……18
宿泊施設……20

大分県全図

県土の7割を森林が占め、草原や盆地、渓谷など変化に富んだ内陸部と別府湾を堺に北部沿岸は遠浅な砂浜、南部はリアス式海岸が続いています。温泉は源泉数・湧出量共に日本一で、放射能泉を除く全ての泉質があります。

様々な社会や思想にふれ
将来の生き方や自分を見つめてみる

受け入れ側の目線

現在の国際社会では、10人に1人の人が障がいを抱えていると推計されています。生まれつきにして障がいを持っている人、事故や病気などの理由で障がいを抱えてしまった人、高齢による心身の弱りなど障がい者の領域は様々ですが、少子高齢化の進む日本では、この割合が今後大きく増えていくのです。実際に太陽の家を訪問した子ども達の感想文に「行く前は、暗いイメージだった」「障がい者の方が明るい人だったので驚いた」といった内容が見受けられます。大人だけでなく子ども達にとっても、そうした偏見が根付いているのでしょうか？障がいを抱えて生きていくというのは確かに大変なことですが、そのことで何も出来なくなるということではありません。健常者であっても目の大きさや鼻の高さが違うように、障がいの種類も人によって違います。どうすれば自分にも出来るのだろうか？ということを常に考え、チャレンジすることが大事なのです。考えて、考え抜いて得られる回答や結果は、決してひとつではありません。それが「生きる」ことだと思うのです。

社会福祉法人 太陽の家 理事長 中村太郎

（経歴）
1960年別府市出身。大分医科大学大学院博士課程卒業、医学博士。ロンドン大学王立整形外科病院留学。医療法人社団恵愛会大分中村病院・社会福祉法人太陽の家理事長。パラリンピックではアテネ・シドニー・バンコク・北京大会で日本選手団チームドクターを務める。日本障害者スポーツ協会医学委員、アジアパラリンピック委員会医学委員など。主な著書に「パラリンピックへの招待」（岩波書店）、「車いすマラソン大分から世界へのメッセージー」（医療文化社）がある。

ホンダ太陽（株）の社員食堂

大分国際車いすマラソン
1981年の国際障害者年を記念して、世界で初めての車いすのみの国際的なマラソン大会としてスタートしました。以来毎年開催され、今や国内外から世界最大級の大会との呼び声もあがっています。

社会福祉法人　太陽の家

1965年に故中村裕博士により設立された社会福祉施設で、障がいを持っている人々が一住民として普通に働き、暮らしています。オムロンやソニー、ホンダ、三菱商事、富士通エフサスといった大企業が共同出資を行い、特例子会社を設立。敷地内には、博物館や食堂、スーパー、銀行、体育館、ホールや公衆浴場等も整備されており、見学や就業体験、障がい者スポーツ体験などが出来ます。

〒874−0011 大分県別府市大字内竈1393−2
電話 0977−66−0277
大分自動車道別府ICから車で約10分

ホンダ太陽株式会社　日出工場

会社の成り立ちや工場の事を詳しく紹介した映像を観た後に、グループに分かれて工場内をスタッフが案内します。ユニバーサルデザイン化された設備や障がい者スポーツの実情などを詳しく学べます。

〒879−1505 大分県速見郡日出町大字川崎3968
電話 0977−73−1414
大分空港道路 日出ICから車で約15分

ダイハツ九州株式会社　大分（中津）第１工場

地球の環境や近隣に住む人たちに配慮した新鋭設備の工場です。車が作り上げられていく過程を見学するだけでなく、CO2や騒音の低減、排水リサイクル設備などの仕組みを学ぶ良い機会になると思います。所要時間は約90分間です。

〒879−4912 大分県中津市大字昭和新田1
電話 0979−33−1229
大分自動車道 ICから車で約40分

空港のお仕事見学

大分空港はお客様の目線にたった安全・安心・快適なサービスをモットーに地方空港ならではの“おもてなし力の向上”に取り組んでいます。ユニバーサルデザインやユニバーサルサービスについて座学と体験、施設見学を通して学びます。

大分航空ターミナル株式会社（空港ビル管理会社）
〒873−0231 大分県国東市安岐町
電話 0978−67−2015

六郷満山でのお寺で座禅・写経体験

座禅や写経は、心を静めながら“本来の自分の姿を見つめてみる”というもの。日常の雑念から開放され、「見る」「聞く」「考える」力を養います。六郷満山文化が栄えた国東半島の寺院で体験が可能です。

国東市内：両子寺、文殊仙寺、岩戸寺など
お問い合わせ：国東市くにみグリーンツーリズム研究会
電話 0978−82−0595

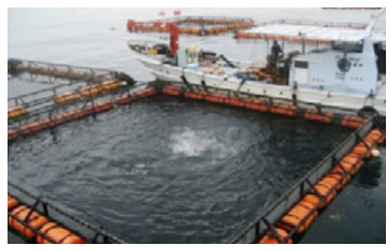
豊後高田市内：富貴寺、長安寺、高山寺など
お問い合わせ：豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会
〒879−0628 大分県豊後高田市新町989−1　電話 0978−25−5805

くしふるの大地

2010年10月に株式会社力の源カンパニー（ラーメン店「博多一風堂」等を運営）が設立した農業生産法人です。標高700〜750mの久住高原でスイートコーン・ミニトマト・ニンニク・しょうが・アスパラガス・ブルーベリー等の栽培を生産しています。家庭菜園とは異なる本格的な大規模農業体験で気持ちの良い汗をかいてみませんか。

〒878−0205 大分県竹田市久住町白丹7549
電話 0974−64−3220
大分自動車道九重ICから車で約1時間、竹田市内より車で約30分

あまべ渡世大学



大分県最南端の蒲江町で取り組まれている海辺の生業（渡世）をプログラムとして提供しています。体験活動は養殖業、魚介類の加工・調理、マリンスポーツ、生活文化、エコ活動など多岐に渡っています。

お問い合わせ：佐伯市観光課
〒876−8585 大分県佐伯市中村南町1−1
電話 0972−22−3942
会場：佐伯市蒲江地区 大分自動車道佐伯ICから車で約50分

教育旅行に最適な大分県内の見学・体験施設

高崎山自然動物園

高崎山には、古くから野生のニホンザルが生息し、現在は2つの群れ（約1200頭）を形成しています。敷地内には、餌付けを行う寄せ場が設けられており、観客は檻を隔てずに生態を観察することが出来ます。

〒870−0802 大分県大分市神崎3098−1
電話 097−532−5010
大分自動車道九重ICから車で約40分

大分マリーンパレス水族館「うみたまご」

水量1250トンの潮流式大回遊水槽で大分県に生息する大型のサメやエイ等、海の生物90種1500尾を展示しています。セイウチ、イルカ等のパフォーマンスショーをはじめ、磯の生物にも触れることが出来ます。バックヤードを案内するガイドも行っていますので、ご相談ください。（1度に30名ずつ、約20分間）

〒870−0802 大分県大分市高崎山下海岸
電話 097−534−1010
大分自動車道別府ICから車で約25分

地域力発見！ジュニア・オンパク

オンパクは2001年から別府で取り組まれている地域の魅力を地域のみんなで再発見するイベントです。教育旅行用のまち歩き体験「ジュニア・オンパク」は、地域で頑張っている人とのふれあいを通じて、暮らしと密接に結びついた近代日本の特徴を色濃く残す文化を学び、旅行後に自分たちが暮らす地域の素晴らしさを考える機会をつくります。①北浜地区、②山の手地区、③太陽の家、④亀川地区、⑤朝見地区の5コースを準備しています。

お問い合わせ：（一社）別府市観光協会
〒874−8511 大分県別府市上野口町1−15
電話 0977−24−2828

別府市竹細工伝統産業会館

国の伝統工芸品指定「別府竹細工」の高い技術を伝承し、後継者の育成や竹産業の振興を目的に造られました。竹を施した館内には様々な竹製品の展示の他、竹鈴やコースターなど簡単な竹細工体験も出来ます。

〒874−0836 大分県別府市東荘園町8−3
電話 0977−23−1072
大分自動車道別府ICから車で約15分

別府地獄めぐり

別府温泉には、青、赤、白などの泉色や熱泥、間欠泉などの源泉が点在しており、この特性を活かした観光施設が地獄と呼ばれる別府観光のハイライトになっています。海地獄、鬼石坊主地獄、山地獄、かまど地獄、鬼山地獄、白池地獄、血の池地獄、龍巻地獄の8つを見学することを地獄めぐりと呼んでいます。

お問い合わせ：別府地獄組合
〒874−0045 大分県別府市鉄輪559−1
電話 0977−66−1577
大分自動車道別府ICから海地獄まで車で約5分

九州自然動物公園　アフリカンサファリ

アフリカンサファリでは、動物たちの生息環境を再現し、動物が本来持つ生態を生かした展示をすることで、皆さんが「学べる」動物園創りを行っています。人気のジャングルバスは動物に直接餌を与えながら、壮大な高原に生息する野生動物達をじっくりと観察することが可能です。雨天も心配ありません。

〒872−0722 大分県宇佐市安心院町大字南畑2−1755−1
電話 0978−48−2331
大分自動車道別府湾スマートICから車で約6分

大分香りの博物館

日本でも珍しい香りをテーマにした博物館。「香りのプロダクトギャラリー」では膨大な量の香水コレクションを一堂に展示、「香りのヒストリーギャラリー」では香りの歴史、人々との関わりを紹介しています。「調香体験工房」でオリジナル香水を調香する体験も出来ます。（調香体験は1度に30名迄）

〒874−8501 大分県別府市北石垣48−1
電話 0977−27−7272
大分自動車道別府ICから車で約8分

城島高原パーク

由布岳の麓、豊かな自然の中に広がる一大レジャーランド。日本初の木製ジェットコースターのジュピターをはじめ、アトラクションも豊富です。冬に登場するアウトドアアイススケートも人気があります。敷地内にはレストランも併設されており、団体利用も可能です。

〒874−8666 大分県別府市城島高原123
電話 0977−22−1165
大分自動車道別府ICから車で約15分

九重“夢”大吊橋

鳴子川渓谷の標高777m地点に架かる高さ173m、長さ390mの日本一の人道専用吊橋です。橋の上からは日本の滝百選の「震動の滝」や紅葉の名所「九酔渓」、天気の良い日には九重連山の壮大な景観を眺めることができます。

お問い合わせ：九重“夢”大吊橋管理センター
〒879−4911 大分県玖珠郡九重町大字田野1208
電話 0973−73−3800
大分自動車道九重ICから車で約30分

九重森林公園スキー場

阿蘇五岳や涌蓋山の大パノラマが一望出来る大分県唯一、九州最大規模のスキー場です。広さ約10haのゲレンデに、総延長2,500mの5つのスキーコースとスノーボード用のボードパークを有しています。春から秋にかけては、九重森林公園として営業しており、5月にはシャクナゲ、6月にはミヤマキリシマの鑑賞も楽しめます。

〒879−4912 大分県玖珠郡九重町大字湯坪612−1
電話 0973−79−2200
大分自動車道別府ICから車で約10分

教育旅行に最適な大分県内の見学・体験施設

住吉浜リゾートパーク

園内でウインドサーフィンを中心としたマリンスポーツ体験ができます。一艇に一人のインストラクターが陸上での指導の後、遠浅のゲレンデ（海）で丁寧に教えてくれます。一度に１００名まで受け入れ可能。待ち時間を利用してレンタサイクル、ビーチバレー、バナナボートなどもできます。また、小型定置網漁・地引網体験も可能で、海岸に生息する様々な生き物を実際に見て、触れ合うことで生物多様性を学ぶことができます。

〒873－0033 大分県杵築市守江1165－2
電話 0978－63－9116　　大分空港から車で約20分

サンドイッチ型の城下町

江戸時代の町並みが残る杵築は“九州豊後路の小京都”と呼ばれています。武士は南北の高台に住み、商人はその谷間にと住み分けをしていたことから、全国唯一のサンドイッチ型城下町を形成しています。当時の杵築藩校では平民の子であっても、藩臣藩士の子弟同様に入校が許されていました。教授には三浦梅園や帆足万里ゆかりの者たちが起用されるなど、質の高い教育を行い、その結果、数多くの人材がここから輩出されました。

お問い合わせ：杵築市観光協会
〒873－0001 大分県杵築市大字杵築665－172（杵築ふるさと産業館内）
電話 0978－63－0100　　大分空港から車で約25分

峯道トレッキング

天台宗寺院の修行のひとつに“峯入り”と呼ばれる荒行があります。１０年に一度行われており、険しい山・峰々を４日間かけ、六郷満山寺院や祠を参拝しながら歩くものです。修験道の歩んだ道をベテランガイドと一緒に登ってみませんか。　コース：千灯寺～旧千灯寺跡～五辻不動尊～千灯岳～赤根登山口～渓泉 所要時間：約５時間

お問い合わせ：国東市くにみグリーンツーリズム研究会
電話 0978－82－0595
大分空港から車で約５０分

地引網体験

リアス式海岸の多い大分県下では、各地で地引網体験が行えます。豊後高田市香々地地区では、農村民泊体験と併せて地引網を行う修学旅行が多く、獲れた魚介類を受入家庭と一緒に調理してバーベキューで食べるプログラムが好評です。 敷地内に男女別更衣室やシャワー、キャンプ用の調理施設も整備されているので安心して活動することが可能です。

お問い合わせ 豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会
〒879－0628 大分県豊後高田市新町989－1　　電話 0978－25－5805
会場：香々地青少年の家 宇佐別府道路宇佐ICから車で約５０分

昭和の町

昭和３０年代をテーマに再現した商店街には、肉屋や魚屋、駄菓子屋、薬屋といった「昭和の店」が立ち並んでいます。お土産購入の他、商店街での体験学習なども学校のご要望に応じて対応が可能です。

お問い合わせ 豊後高田市観光まちづくり株式会社
〒879－0628 大分県豊後高田市新町989－1　　電話 0978－23－1860
宇佐別府道路宇佐ICから車で約２５分

うみたま体験パーク「つくみイルカ島」

２０１１年にマリーンパレスと津久見市が共同で開設した施設。イルカやアザラシなどが飼育され、イルカショーや餌やり、ドルフィンスイムなどのイルカとの触れ合い体験などが楽しめます。

〒879－2683 大分県津久見市大字四浦2218－10
電話 0972－85－3020
東九州自動車道津久見ICから車で約20分

ヨットセイリング（&クルーズ）体験

佐伯湾に浮かぶ彦島を一周するヨット体験。エンジンのついたクルーザーですので転覆の心配はありません。２時間のヨットスクール。 一人で好きな方向にヨットを走らせるようになることを目標とした練習をします。天候にさえ恵まれれば、すぐに操船ができるようになります。クルーズの場合は定員10名まで乗船可能ですが、セイリングの場合は４名までとしています。（定員×４隻）

お問い合わせ：佐伯市観光課
〒876－8585 大分県佐伯市中村南町１－１　　電話 0972－22－3942
会場：風無漁港（佐伯市大字護江895）　　大分自動車道佐伯ICから車で約20分

リバーカヌー体験

石灰岩の山々にろ過された番匠川の水は、通称「番匠ブルー」といわれるほど美しく、マイナスイオンに溢れ、癒し効果もあります。本匠地区の水辺の楽校を拠点にカヌーが体験出来ます。２人乗りカヌーが１０艇、１人乗りカヌーが１０艇あります。

お問い合わせ：佐伯市観光課
〒876－8585 大分県佐伯市中村南町１－１
電話 0972－22－3942
会場：水辺の楽校　　大分自動車道佐伯ICから車で約１５分

鯛生金山

明治２７年に発見され、かつては東洋一の金産出量、従事者３０００人を超える大金山だった鯛生金山。昭和４７年に閉山し、昭和５８年に「地底博物館鯛生金山」として蘇りました。約８００mの観光コースは、実際に掘られた坑道を歩きながら、当時使用されていた機械、人形等を使って、採掘の歴史を再現しています。２００７年には経済産業省の「近代化産業遺産」にも登録されています。

〒877－0302 大分県日田市中津江村合瀬3750　　電話 0973－56－5316
大分自動車道日田ICから車で約６０分

近代の職人文化に触れる「鏝絵と石橋」

宇佐市南部の安心院町・院内町には、明治・大正・昭和に活躍した職人たちの息吹を感じる鏝絵や石橋が多く残されています。日本の原風景が残る農村で幾年月を超えた、先人たちの生活に密着した願いや叡智をご覧いただけます。

地元の熟練ガイドがご案内いたします。
お問合せ： 宇佐市観光協会安心院支部
〒872-0521　大分県宇佐市安心院町下毛2074－1
電話0978－34－4839
宇佐別府道路　安心院ICより車で約5分

大自然いっぱいの大分を歩こう

オルレとは？
オルレは韓国・済州島から始まったもので、もともとは済州島の方言で「通りから家に通じる狭い路地」という意味。自然豊かな済州島で、トレッキングする人が徐々に増え、「オルレ」はトレッキングコースの総称として呼ばれるようになり、今では韓国トレッキングの中心的コースになっています。大分県には、九州観光推進機構が認定する3つのオルレ・コースがあります。

九州オルレ奥豊後コース

※道順：【スタート】ＪＲ豊肥本線朝地駅→【ゴール】豊後竹田駅

韓国済州島で大ブームのトレッキング「オルレ」。その九州版「九州オルレ」。豊後大野市から竹田市まで１２kmの奥豊後コースは、天候や季節を問わず国内外の多くの人が歩く人気のコースです。道や木に付けられた矢印やリボンを頼りに未舗装の里山を歩き、道々の景色や史跡、そこに暮らす人々の生活を観る。「何もない」道に、ふるさとの豊かさを発見しながら歩く、小さくて大きな旅です。

お問い合わせ：
①一般社団法人ぶんご大野里の旅公社　電話0974－35－3601
〒879－6911　豊後大野市清川町宇田枝158番地
②竹田市観光ツーリズム協会　電話0974－63－0585
〒878－0011　大分県竹田市会々2250－1

九州オルレ九重・やまなみコース

※道順：【スタート】九重“夢”大吊橋→筌の口温泉→ミルクランドファーム→九重やまなみ牧場→【ゴール】くじゅう飯田高原観光案内所

日本一の九重“夢”大吊橋からラムサール条約にも登録されたタデ原湿原までをゆったり歩く。ほとんどが阿蘇くじゅう国立公園内を通り、渓谷やクヌギ林、草原、田園風景など通常歩くことのない変化に富んだこの地域ならではの自然を堪能できる。新緑や紅葉、雪景色など四季の魅力を五感で感じられる。

お問い合わせ：
九重町商工観光・自然環境課　電話0973－76－3150
〒879－4895　大分県玖珠郡九重町大字後野上8－1

九州オルレ別府コース

※道順：【スタート】志高湖→見晴らし展望台→合棚お地蔵さま→愛宕神社・枝郷公民館→神楽女湖→【ゴール】志高湖

標高６００mに位地し、緑に囲まれた山上湖である「志高湖」をスタート・ゴール地点とする所要時間３～４時間、距離にして１１kmの周遊コースです。「志高湖」をスタートし、山々の尾根からの絶景を眺めながら、山道をたどり、名勝「由布川渓谷」の源流のせせらぎを感じ、花しょうぶの名所である「神楽女湖」を通って、最後は阿蘇くじゅう国立公園の代表的な景勝地のひとつである「志高湖」に戻ります。コース周遊後は、湧出量・源泉数日本一を誇る別府温泉で疲れを癒してください。

お問い合わせ：
①別府市観光課　電話0977－21－1128
〒874－8511　大分県別府市上野口町1－15
②(一社)別府市観光協会　電話0977－24－2828
〒874－8511　大分県別府市上野口町1－15(別府市役所1階)

団体向け食事施設

市町村名	施設名	収容人数	郵便番号	住所	電話	FAX
大分市	関あじ・関さば館	45名	879-2202	大分市白木949	097-575-2338	
別府市	海辺のレストラン しおさい	500名	874-0923	別府市新港町6-46	0977-24-1811	0977-24-1817
	別府ドライブイン インターヴィレッジさくら	700名	874-0841	別府市竹の内6-2	0977-25-5211	0977-25-7511
中津市	道の駅なかつレストラン	100名	871-0152	中津市大字加来814番地	0979-64-8830	0979-64-8830
	レストハウス洞門 -LuxeGarden-	500名	871-0202	中津市本耶馬渓町曽木1848-1	0979-52-2432	0979-52-3225
日田市	旬彩ビュッフェ　銀の鈴	170名	877-0074	日田市中ノ島635-1	0973-28-5200	0973-28-5201
佐伯市	マリンパーク有明	120名	876-1204	佐伯市鶴見有明浦24番地	0972-33-1237	
臼杵市	石仏観光センター・薬膳うさ味	300名	875-0064	臼杵市大字深田833-5	0972-65-3333	0972-65-3111
津久見市	浜茶屋	80名	879-2401	津久見市大字千怒新地6029	0972-82-8302	0972-82-1459
竹田市	くじゅう高原ガンジー牧場	100名	878-0201	竹田市久住町大字久住4004-56	0974-76-0760	0974-76-1075
豊後高田市	旬彩南蔵	120名	879-0628	豊後高田市新町989-1(昭和ロマン蔵内)	0978-23-1860	0978-23-1870
杵築市	若栄屋	200名以上	873-0001	杵築市北浜665-429	0978-63-5555	0978-63-2345
宇佐市	ワイナリーレストラン 朝霧の庄	156名	872-0521	宇佐市安心院町下毛828-2	0978-44-1236	0978-44-1116
	神憩賓館 かくまさ	500名迄	872-0102	宇佐市南宇佐2213-1(宇佐神宮表参道)	0978-37-0581	0978-37-0003
豊後大野市	道の駅原尻の滝内 レストラン白滝	150名	879-6631	豊後大野市緒方町原尻936-1 道の駅 原尻の滝	0974-42-2742	0974-42-4142
由布市	ゆふいん田	150名	879-5102	由布市湯布院川上2413-2	0977-85-8835	0977-85-8856
国東市	和の宿 割烹 三國屋	120名	872-1401	国東市国見町伊美2280-1	0978-82-0168	050-7543-6010
姫島村	もりえい	68名	872-1501	東国東郡姫島村松原2089-10	0978-87-3666	0978-87-3666
日出町	ホテルソラージュ大分・日出	150名	879-1504	速見郡 日出町大神7505	0977-72-1800	0977-72-1810
九重町	くじゅう野の花の郷	300名	879-4911	玖珠郡九重町大字田野1662	0973-79-3375	0973-79-3135
玖珠町	地どり茶屋	30名	879-4331	大分県玖珠郡玖珠町大字戸畑8714	0973-73-8937	

バス会社のご案内（五十音順）

大分交通：大分交通株式会社／貸切営業部貸切課
まごころとやさしさ、そして楽しさを提供します。
〒870－8691　大分市新川西8組の3
電話097－532－5155　FAX097－532－5169

大分バス：大分バス株式会社／貸切営業部貸切課
心に残るバス旅は伝統と信頼の大分バスグループで・・・
〒870－0126　大分市大字横尾303番地の1(貸切営業部)
電話097－525－9888　FAX097－520－4750

亀の井バス：亀の井バス株式会社／貸切営業部貸切課
「昭和3年創業、バスガイド発祥の歴史ある会社です。
亀の井バスはお客様との出会いを大切にし、楽しい思い出に残る安全・安心・快適なバスの旅をご提供します。」
〒874－0833　別府市大字鶴見3825－1
電話0977－25－1666　FAX0977－22－4181

おおいたの歴史を訪ねる

⑤大友宗麟
（1530～1587）

⑦ベトロ・カスイ・岐部
（1587～1639）

⑩福澤諭吉
（1834～1901）

⑪瀧廉太郎
（1879～1903）

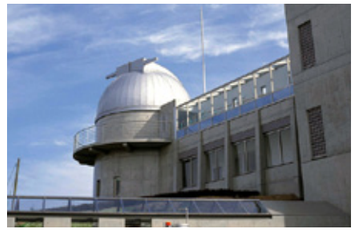
後期旧石器～弥生時代	①	姫島産黒曜石、西日本各地の石器の素材として利用される。
縄文時代		早水台遺跡（日出町）
3世紀		宇佐邪馬台国説
713	②	風土記撰上の命その後「豊後国風土記」成る。
731	③	八幡宇佐宮、官幣社となる。このころ神宮寺として弥勒寺が建てられる。その後、東大寺大仏造立への貢献などにより封戸などが与えられ、九州最大の荘園領主となる。八幡宇佐宮と天台仏教の結び付いた山岳信仰、六郷満山文化が、国東半島を中心に展開する。
769		道鏡事件起こる。和気清麻呂が派遣され、神託を受ける。
11世紀後半～	④	このころから臼杵石仏が造立される。豊後各地の石仏が作られる。
1184		源平内乱のなかで、八幡宇佐宮が緒方惟栄によって焼き打ちにされる。
1185		豊後など関東御分国となる。
1272		守護大友頼泰、このころ豊後に下向したという。
1274		豊前・豊後武士、蒙古合戦に出兵（文永の役）。弘安の役（1281）にも再出兵。石築地建設などにも動員される。異国降伏祈願などに社寺も加わる（岩戸寺国東塔など）。
1429		はじめて使いを朝鮮に遣わす。
1451		大友親繁、明国へ使いを遣わす。
1545		大友氏と大内氏の戦い始まる。この年、ポルトガル人、豊後沖ノ浜に来る。
1550	⑤	大友二階崩れの変、起こる。大友義鎮（宗麟）21代当主となる。
1551		フランシスコ・ザビエル、山口から豊後府内に来る。義鎮、キリスト教の布教を許可。
1555		ルイス・デ・アルメイダ、府内に育児院・病院 を建てる。
1562		義鎮、臼杵に丹生島城を築く、入道して宗麟と号す。臼杵にも外国船が来航す。
1571		宗麟、九州6カ国の守護職となる。
1578		宗麟、日向に出兵。受洗してドン・フランシスコと称す。
1582		宗麟らの少年使節、長崎を出発。
1587	⑥	豊臣秀吉、九州を平定。大友義統、豊後一国 を与えられる。豊前中津には黒田孝高（如水）が入る。
1593		大友義統、朝鮮出兵での不手際により領地を 没収される。豊後の小藩分立の始まり。
1596		豊後に大地震、沖の浜水没す。
1600		オランダ船リーフデ号、豊後に漂着す（ウィアリム・アダムスら乗り組み）。関ヶ原の合戦後徳川家康恩顧の大名に領地の再分割。
1614	⑦	豊後キリシタンへ拷問などの迫害が行われる。伊美（国見町）出身の宣教師ベトロ・カスイ・岐部もマニラに追放される。その後、1622・1633・1659 などの大弾圧により豊後キリシタンは壊滅される。
1639		日田が天領となる。
1658		大給松平氏、府内へ入部。豊後の藩体制が固まる。
1742	⑧	三浦梅園、この年天球儀をつくるという。
1817	⑨	広瀬淡窓、咸宜園を起こし、門弟教育を始める。
1836		帆足万里、「窮理通」8巻を完成。
1860	⑩	福澤諭吉、咸臨丸で渡米。
1871		廃藩置県。現、大分県域は12県となるが、11月14日、豊後一円は大分県、豊前は小倉県に編入される。福沢諭吉、中津に市学校を開設。
1876		福岡県のうち下毛・宇佐郡を大分県に編入。現大分県域が確定する。
1900	⑪	瀧廉太郎が「花」「荒城の月」「箱根八里」等を発表
1916		日豊本線佐伯まで開通
1928		豊肥線全線開通
1934		久大線全線開通
1945		終戦
1959		臨海工業地帯建設起工式
1971		新大分空港オープン
1972		新日本製鉄第1号高炉火入れ
1994		県出身者として初の村山内閣総理大臣誕生
1995	⑫	振り子式車輌の特急列車ソニックが博多・大分間に運行を開始
2002	⑬	FIFA ワールドカップ開催 大分県でも3試合が行われた

①貴重な黒曜石の産地「観音崎」（姫島村）

⑥黒田官兵衛でお馴染みの「中津城（奥平家歴史資料館）」（中津市）

⑪「荒城の月」のモデルになった岡城趾（竹田市）

②宇佐風土記の丘 大分県立歴史博物館（宇佐市）



⑧梅園の里天球館（国東市）

③全国の八幡社の総本宮「宇佐神宮」（宇佐市）

⑨儒学者・廣瀬淡窓が開いた私塾「咸宜園」（日田市）

⑫ソニック883（JR九州）

③国宝「富貴寺大堂」も天台宗の寺院（豊後高田市）

⑩福沢諭吉旧居（中津市）

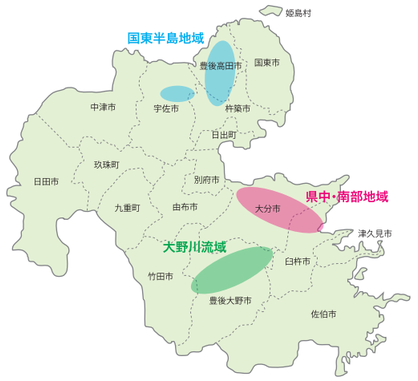
⑬大分スポーツ公園総合競技場（大分市）

大分県は磨崖仏の宝庫

自然の岩壁を彫り刻んでつくられる磨崖仏は、平安～鎌倉時代に多く造られ、全国の8割が大分県にあると言われています。その多くが熊野磨崖仏で有名な国東半島地域、臼杵石仏で知られる県中・南部地域、そして大野川流域の3つのエリアに集中しています。写真のように丸掘りに近い厚肉掘りと自然に溶け込むような薄肉掘りがあり、訪れる人を魅了しています。

④国宝「臼杵石仏」（臼杵市）

普光寺（豊後大野市）



教育旅行に最適な大分県内の宿泊施設

花菱ホテル

大分県教育旅行誘致協議会会員

明治37年創業の伝統ある老舗ホテル。別府市の中心街北浜海岸に位置し、温泉と海が織りなす「自然の恵み」を大切にお客様をお迎えしております。別府湾を眼下に望む展望大浴場や露天風呂は格別と高い評価を頂いており、朝日の昇る光景も最高です。全146室、556名収容可能。

大浴場

客室

〒874−0920 大分県別府市北浜2−14−29
電話 0977−22−1211 FAX 0977−21−2664
大分自動車道別府ICから車で約20分

別府湾ロイヤルホテル

大分県教育旅行誘致協議会会員

別府市の隣り日出町にあり、別府湾を見下ろす高台に位置する13階建てのホテル。大分観光の起点としても最適の位置です。ゆったりとくつろげるホテルの客室は、洋室のほかに和室もございます。バンケット「ロイヤルホール」では最大450名が着席して食事が可能です。この他にも人数に合わせた会場がございます。全289室、674名収容可能。

大浴場

客室（和室）

客室（洋室）

〒879−1508 大分県速見郡日出町大字平道字入江1825
電話 0977−72−9800 FAX 0977−72−9700
大分自動車道速見ICから車で約10分 大分空港から車で約30分

住吉浜リゾートパーク

大分県教育旅行誘致協議会会員

広大な敷地の中に宿泊施設のマリンホテルと別館のプライア、ルース、ソーニョの3棟のホテルタイプと一戸建の貸別荘があり、宿泊収容人員は、ホテル194名、一戸建130名を合わせて324名です。他に、飲食施設や研修施設、ゴルフ場をはじめテニスコート、グランド等のスポーツを配したリゾート施設として2010年にリニューアルオープンした施設です。マリンスポーツや地引網体験、潮干狩り、キャンプファイヤー、星空観察など多彩なアクティビティが可能です。雨天時においても、屋根付きの施設でスポーツなどを行うことが出来ますのでご安心ください。

ホテルタイプ客室

グラウンド

地引網

〒873−0033 大分県杵築市守江1165−2
電話 0978−63−9116 FAX 0978−63−9062
大分空港から車で約20分

住吉浜リゾートパークは、別府湾に突き出した40万平方メートルの半島です。

城島高原ホテル

大分県教育旅行誘致協議会会員

阿蘇くじゅう国立公園の由布岳、鶴見岳の麓に広がる城島高原。別府と湯布院の中間に位置し、標高650mの豊かな自然の中での学習・交流会に最適な施設でお迎えします。客室が2棟に分かれているので男女を別棟に部屋割りでき、また低階層で安全です。250名〜300名収容のホールが2ヶ所あり食事・レクリエーションがスムーズに行えます。お食事は、和食・洋食をメインにバラエティに富んだビュッフェ料理、お一人様ごとのセットメニューもご提供いたします。城島高原パークも隣接しており、体験プログラムは「見る」「学ぶ」「体験する」の3つを基本に組み立てていただけます。全71室、345名収容可能。

客室

大浴場

城島高原パーク

〒874−8666 大分県別府市城島高原123
電話 0977−22−1162 FAX 0977−25−5692
大分自動車道別府ICから車で約15分

大分県マリンカルチャーセンター

大分県教育旅行誘致協議会会員

大分県マリンカルチャーセンターは大分県佐伯市蒲江の元猿海岸付近に立地。部屋からは海を望め、南国風の雰囲気でゆったりと過ごせます。また近海は4つの海流が混在する豊かな漁場で、新鮮で旨味たっぷりの魚介を使った料理を堪能できます。100名収容できる宴会場など大人数の宿泊にも対応できます。洋室・和室・和洋室・バリアフリーの4タイプをご用意しております。全25室、90名収容可能。 ※団体50部屋（8人部屋）408名収容可能

客室（和洋室）

伊勢海老料理

マンボウ

〒876−2301 大分県佐伯市蒲江大字竹野浦河内1834−2
電話 0972−42−1311 FAX 0972−42−1531
東九州自動車道佐伯ICから車で約40分、蒲江ICから車で約12分

その他大分県の教育旅行団体受入宿泊施設

地 区	名 称	部屋タイプ	宿泊人数	TEL	FAX
別府市	おにやまホテル	和室・和洋室・洋室	300	0977-66-1121	0977-66-1125
	別府富士観ホテル	和室・和洋室・洋室	378	0977-23-6111	0977-21-6997
	ホテル三泉閣	和室・和洋室・洋室	350	0977-21-1155	0977-25-2726
	ホテル風月 HAMMOND	和室・洋室	300	0977-66-4141	0977-66-1232
	旅のお宿 臨海	和室	50	0977-22-3361	0977-21-1583
	別府ホテル 清風	和室・和洋室・洋室・他	530	0977-24-3939	0977-25-5831
	亀の井ホテル 別府店	洋室	1102	0977-22-3301	0977-21-1232
	海薫る宿 ホテルニュー松実	和室・和洋室	180	0977-23-2201	0977-21-5879
大分市	都イン大分	洋室	135	097-535-2525	097-538-3737
	大分リーガルホテル	和洋室	124	097-536-3000	097-535-2001
	鶴崎ホテル	和室・和洋室・洋室・他	150	097-522-0711	097-522-0720
	ホテル法華クラブ大分	洋室	224	097-532-1121	097-538-1659
	大分パークインホテル	洋室	97	097-537-1221	097-537-1350
	ホテルクドウ大分	和室・洋室	100	097-532-3981	097-536-6217
	ホテルキャッスルOITA	洋室	86	097-537-8878	097-536-7714
	(株)大分スポーツ公園宿泊研修センター	和室・和洋室・洋室	104	097-524-6551	097-524-6552
日田市	小京都の湯みくまホテル	和室・和洋室・洋室	260	0973-23-3000	0973-24-2757
	瀬音ー湯音の宿 浮羽	和室・和洋室	105	0973-57-3171	0973-57-3173
	ひなの里 山陽館	和室・和洋室・洋室・他	220	0973-22-2134	0973-22-2140
	日田の宿 よろづや	和室・和洋室・室	84	0973-22-3138	0973-23-3000
	夢の国・星の国 みるき〜すぱサンビレッヂ	和室・和洋室・洋室	389	0973-57-3461	0973-57-2337
由布市	やまとや旅館	和室	20	0977-86-2035	0977-86-2037
	志美津旅館	和室	30	0977-86-2111	0977-86-2275
豊後高田市	ホテル清照	和室・和洋室・洋室・他	78	0978-24-1611	0977-24-1615
佐伯市	佐伯セントラルホテル	和洋室・洋室	85	0972-22-8511	0972-22-8364

農村民泊という大分のスタイル

安心院町（現宇佐市）で産声をあげた旅館や民宿でなくごく普通の民家に泊まるという農家民宿の規制緩和は平成１４年に大分県でスタートしました。
日本型グリーンツーリズムは、ここから始まったのです。
現在では、大分県下を５つのブロックに分け修学旅行にあわせた受入体制を整えています。
他の地域で見られる「宿泊」と「プログラム」を区分けせずにホストファミリーと農村の暮らしを農村の時間にあわせて楽しむ「農村民泊」という大分県独自のスタイルです。

子ども達をお客様扱いすることなく
家族のようにしつけ、褒めて、泣いて、笑って喜んで・・・
共働きや核家族化が進む現代社会の中で
家族や地域という絆を子ども達と分かちあいたいと考えます。

3月28日は
グリーンツーリズムの日です

平成8年3月28日
安心院町グリーンツーリズム研究会発足

平成１４年3月28日
大分県生活環境部より発令された「グリーンツーリズム通知」の
規制緩和は、日本におけるグリーンツーリズムの大展開の発火点となります。

この事が認められ、3月28日が記念日として認定されました。

おおいたの食文化

関アジ・関サバ、城下カレイなどブランド魚で有名な大分県ですが、海の幸以外にも、多くの特産品があります。なかでも、カボスや乾しいたけ、養殖ヒラメの生産は全国一位。唐揚げやとり天、鶏めしといった郷土料理も県下全域に定着しており、農村民泊でも評判の家庭料理です。

かぼす

団子汁

鶏めし

とり天

乾しいたけ

受け入れ側の目線

初めての学校団体の受け入れで、特別支援クラスの子ども達をお引き受けしました。一人ひとりの事情が異なる中で、私たちの願いはひとつ。他の子ども達と同じ感動や思い出を持って帰っていただきたい。心身にハンディがあると活動内容にも制限がありますが、楽しいことや嬉しいと感じる、心の交流は可能です。その日、一番盛り上がったのはジャンベ太鼓の演奏でした。心配になって駆けつけた先生方も一緒になって、皆で心の赴くままに太鼓を叩き続けました。農業や漁業の体験も大事ですが、体験活動を通じてお互いの心が通いあわない限りは、民家に泊まったということだけで終わってしまいます。
また、せっかく遠いところからお出でいただくのですから、コミュニケーションを深める為にも、田舎らしいゆっくりとした滞在時間を確保していただきたいと願っています。

風の住処 主人 高熊 博

（経歴）
２００７年まで佐伯市内にてインテリア専門店を営む。市内木立地区の自宅で農家民宿を開業。敷地内で数十種にもおよぶ菜園を手がけながら、陶芸や音楽会の開催なども行う。福士住環境コーディネーター、特定非営利活動法人あいネットワーク大分元理事長。

生徒の目線

口の悪い和尚が大好きな子ども達（農村民泊体験をした生徒の作文より）

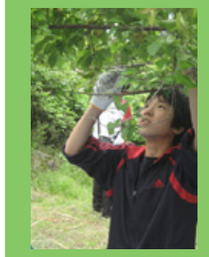
その夜、和尚さんが帰ってきて寝かかっていた僕たちを起こして一時間ほど話をしてくれました。その話を聞いていると「この宿に泊まって良かった。」とすごく満足した気分になりました。

「勉強とは、人を救うためにする。」という言葉は自分の心にささりました。自分の将来の夢は警察官なので、この機会を大切にして今後の自分の人間性を高める材料にしたいです。

最終日、和尚さんの車で和尚が「人生に行き詰まったらまた来い。」と言われ感動してしまいました。

和尚さんは辛口口調でしたが温もりのある優しい方と最後にしみじみ思いました。

コンテンツ例（事例はほんの一例で、受入家庭により体験内容は様々です）


農業体験

家畜の世話

餅つきやお菓子作り

竹細工やわら細工

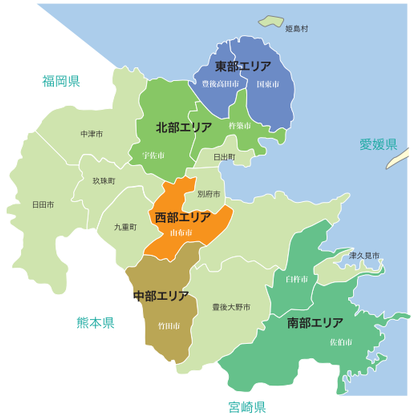
魚釣り

家での団欒

タケノコや山菜狩り

大分県グリーンツーリズムの特徴

1. それぞれの家庭で体験内容が異なります
   ・家の生業や特徴を活かした体験活動を行います
   ・得意な料理やふるさとの味を大事にしています
2. 受入は「1日1組」心の交流を第一に
   ・1軒に4～6名の受入（最大でも8名）
   ・我が子のように迎えます
3. 行政と連携したサポート体制
   ・受入家庭への巡回を行っています
4. 簡易宿所として許可を受けています
   ・提供する料理は体験調理です
   ・保健所の指導に基づき安全・衛生管理に関わる講習会等を開催しています
   ・防火管理責任者の資格取得に努め、火災報知器の設置を義務化しています
5. 送迎時の交通事故対策
   ・使用する自家用車は全て任意保険に加入を義務化しています



農村民泊

修学旅行のお申し込みは　**公益財団法人 日本修学旅行協会大阪事務所まで**

〒541－0046　大阪市中央区平野町1－7－3　BRAVIビル北浜8F
電話 06－6209－7797　FAX 06－6209－7798

大分県の農村民泊についてのお問い合わせは　**NPO法人 大分県グリーンツーリズム研究会まで**

〒872－0521　大分県宇佐市安心院町下毛
電話 0978－44－1158　FAX 0978－44－0353

北部エリア（宇佐市・杵築市）

事務局	NPO法人 安心院町グリーンツーリズム研究会 TEL 0978－44－1158 宇佐市安心院町下毛
最大260名	宇佐市 60軒　杵築市 10軒

農村民泊発祥の地である旧安心院町を中心に、石橋で有名な旧院内町、宇佐八幡宮で知られる宇佐市と山香米・山香牛を特産品とする杵築市山香町で受け入れを行っています。
長洲地区での漁業体験や零戦の収納庫であった城井1号掩体壕での平和学習などのオプションもあります。

東部エリア（豊後高田市・国東市）

事務局	豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会 TEL 0978－25－5805 豊後高田市新町989－1
最大260名	豊後高田市 40軒 160名　国東市 36軒 100名

受入家庭が地区ごとに集団で行える活動や雨天時の代案プログラムを整備していることが学校に安心感を与えています。
海と山里の距離も近く、魚釣りや潮干狩り、地引網漁体験なども可能です。また、座禅や写経体験、峯道トレッキングなど、六郷満山文化の栄えた国東半島ならではのプログラムも充実しています。

中部エリア（竹田市）

数万年前に阿蘇の大噴火で出来上がった「火砕流台地」が基層となり、中心市街地は400年の歴史を誇る岡藩・城下町や岡城阯があり、周辺部では標高700mの久住高原があります。地元の人の生活や自然を織り交ぜた様々な体験・高原での自然観察散策など農村民泊のプログラムが充実しています。

事務局	来ちょくれ竹田研究会 TEL 0974－63－0585 竹田市久住町大字久住2562－2
最大40名	竹田市 10軒 40名

オルレ

西部エリア（由布市）

有名観光地・湯布院を抱える由布市では、久住山系から湧くおいしい水とお米や野菜を中心とした農業が盛んです。農村民泊では、特産品である庄内梨の収穫体験や黒岳原生林トレッキング、陶芸、ソバ打ち体験などが行えます。

事務局	由布市グリーンツーリズム研究会 TEL 0975－582－1488 由布市庄内町柿原488
最大80名	由布市 16軒 80名

由布岳と辻馬車

南部エリア（臼杵市）

自家製釜によるピザづくりや竹細工など、各受入家庭での個別体験のほか、100人規模で四季折々の種付け、収穫体験ができる農場を整備しています。また、入村式会場から20分圏内に受入家庭が集中しているため安心して農泊を体験できます。

事務局	吉四六さん村グリーンツーリズム研究会 TEL0974－32－7181 臼杵市野津町野津市949
最大130名	臼杵市 32軒 130名

体験農場

南部エリア（佐伯市）

宮崎県との県境にある佐伯市は九州最大の面積を誇り、海・山・川の多彩な自然に恵まれています。各家庭での個性豊かな体験に加え、ヨットクルージングなど集団で行えるプログラムも充実しています。

事務局	佐伯市役所観光課 TEL0972－22－3942 佐伯市中村南町1－1
最大100名	佐伯市 20軒 100名

ヨットクルージング

2015年3月現在（各地区の受入軒数や人数は変動がありますので、その都度事務局へご確認ください）

多様な人々との協働体験で
子ども達の“表情が変わる”
“行動が変わる”
“未来が変わる”

受入人数：60〜300名
※少人数や大人数の場合は応相談

大分に在住する留学生をリーダーとして行う協働体験型の研修プログラムです。多様な文化的背景を持つ人々との協働の経験は、「世界への興味や関心」、「平和」、「環境問題」、「他者貢献」、「進路」などについて生徒が自立・主体的に物事を考え、チャレンジすること、新しい自己を見出すことにつながります。修学旅行だけではなく、様々な学校行事に導入することができます。

受け入れ側の目線

留学生から発せられる言葉の一つ一つは、心からの「生きた」メッセージとして、参加者一人一人の心に届けられます。なぜそうなるのか、それは、年齢のさほど変わらない彼らだから。国籍・宗教・文化などの背景を超えた心の叫びだから。そして、参加者のために少しでも役に立ちたいと言う彼らの「想い」があるから。

株式会社LbE Japan 代表取締役 北 浩一郎

（経歴）
日本の高校を卒業後、米国の大学で写真学を専攻。その後、英国へ。帰国後、国際交流事業に従事。8年間国際交流事業取扱の会社に勤務の後、1993年から米国人パートナーとともに国際教育コンサルティングGuy　Healy,Japanを共同経営。2008年にはグローバル人材育成に特化した㈱LbE　Japanを設立。 約45ヵ国400名の登録留学生人材との協働体験研修事業やグローバル対応力を測定するアセスメント事業を学校や企業に提供することを通じて、日本のグローバル力強化にチャレンジ中。これまでに約11万人の人々にサービスを提供。

コンテンツ例

Greetings in the world
リーダーが自国の言葉で挨拶し、その意味を解き明かします。日本のような「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」と時間帯で使い分ける国もあれば、いつでも同じ言葉、男性と女性や信仰する宗教で使い分けたりと実に様々。

Differences of “Peace”
日本人にとっての常識や当たり前は、海外では随分と異なるようです。例えば「平和」という言葉の意味。国や地域によっては、今もなお民族紛争やテロ行為による安全が脅かされています。平和を阻害する要因とは？独裁政治、貧困、環境破壊、医療や教育などの格差･･･ｅｔｃ。

Explore the World
出身国・地域ごとに、その国と文化紹介をするブースを設置します。参加者は、世界旅行をするかのような感覚で、グループごとにブースを巡り、いろんな国・地域の理解を深めます。（ブース滞在は一定時間ごとに移動し、ローテーションしながら交流になります）

Global Talent Show
プログラムでは「国際文化祭」として位置づけています。留学生からの出し物には、様々な文化や伝統芸能、歌、踊りなどの披露があります。参加者からも日本の文化や部活動、趣味などの特技を披露してください。（事前に準備が必要です）

グローバル人材育成プログラム
運営会社／株式会社 LbE Japan（エルビー・ジャパン）
〒810−0074 福岡県福岡市中央区大手門1−8−8
電話 092−791−6581
E-maile info@lbejapan.co.jp

生き抜くチカラ

ITA 大分県教育旅行ガイド

2日間コース サンプルスケジュール
テーマ例：「世界の友達と自分の夢を描く」

※活動内容やテーマは、ご要望に応じてアレンジ可能です
※プログラムは、半日〜3日間で構成いたします

時 間	スケジュール	内 容
9:00	ホテル出発	
9:30	APU 到着・リーダー出迎え	
9:45	リーダーによる歓迎（全体） アイスブレーキング活動（班別）	リーダー紹介・スケジュール確認・伝達事項 相互紹介やレクレーション交流
11:00	大学紹介（全体）	APU アドミッションズオフィス担当者から大学紹介
11:30	昼食（班別）	国際色豊かな大学カフェテリアで昼食
12:30	キャンパスツアー	リーダーの案内でキャンパスツアー
13:00	学習・交流活動（班別） 世界発見” Explore the World”	世界発見” Explore the World” リーダーの出身国ごとに国と文化紹介ブースを設置 紹介を通じてそれぞれの国や文化への理解を深める
14:30	学習・交流活動 リーダーによる発表	APU 学生による発表 「世界に自分が貢献できること」
15:30	学習・交流活動（班別） インタビュー活動	テーマ「自分が社会に貢献できること」 リーダーのリードのもとテーマに基づいて自分達の現状や世界の実情について 知り、自分達に何ができるのかを考える
16:30	クラス写真撮影	APU キャンパス（噴水前）でクラス写真撮影
17:00	1 日目修了 APU 出発	
17:30	ホテル到着	

時 間	スケジュール	内 容
9:00	ホテル出発	
9:30	APU 到着・リーダー出迎え	スケジュール確認・伝達事項 相互紹介やレクレーション交流
10:00	学習・交流活動 パネルトーク（全体）	テーマ：「自分が社会に貢献できること、私の目標観、将来の夢」リーダーのリードで、「世界観、価値観、目標観」などをテーマにリーダー、生徒それぞれの代表パネラーによるパネルディスカッション
11:30	昼食（班別）	リーダーとともに昼食
12:30	学習・交流活動 Action Plan Preparation1（班別） <私のアクションプラン・プレゼンテーション準備 1>	「わたし達にできることー家族、社会、日本や世界に対して」についてグループごとにそれぞれ自分たちの考えをまとめる
13:15	学習・交流活動 Action Plan Preparation2（班別） <私のアクションプラン・プレゼンテーション準備 2>	「わたし達にできることー家族、社会、日本や世界に対して」についてグループごとにまとめた考えをもとにプレゼンテーションの準備・作成
14:00	生徒の発表活動 Action Plan Presentation（班別） <私のアクションプラン・プレゼンテーション>	全体の前で各グループ毎に発表 （1グループにつき約 5 分のプレゼンテーション）
15:45	APU 出発・ホテルへ移動	
16:15	ホテル到着	グローバルタレントショーの準備
16:30	交流活動（全体）Global Talent Show < グローバルタレントショー >	ミニ文化祭（グループ又は個人で） リーダーに日本文化や自分達が自慢できることを披露。リーダーからも出し物を披露。 （グループ又は個人で）
18:00	写真撮影	
18:30	夕食（班別）	リーダーとともに夕食
19:40	修了式（全体）	リーダーと最後のお別れ！
20:30	プログラム終了	

■会場はホテルや大学等の屋内施設を使用します。
■使用言語は原則英語ですが、学校側のご要望に応じて英語の使用比率を設定いたします

貴重な水資源を人の知恵と自然の力で平等に分け合った円形分水（竹田市）

環境問題を複眼的に考える

私たち人間が生き続けていく以上、環境問題は永遠のテーマであるといえます。全ての生命体は、生きるために他の生命を食べていかねばならず、人間は食物連鎖の最頂点に位置しています。食べることだけであれば、生態系に大きな変化はなかったはずなのですが、人間はより豊かに生きる為に通貨を考案し、富と権力という概念をもたらしました。産業革命以降は、経済力がその国・地域の力を示すシンボルになり、自然環境を破壊し続けています。今の私たちの豊かな生活は、環境破壊と共に発展してきたと言っても過言ではありません。温暖化現象、海産資源の減少、電力・エネルギー問題等様々な課題を抱えていますが、ほとんどの原因は人間が作り出しており、解決方法を見出すのも人間の責任であると考えます。次代を担う子ども達には、是非ともそうした視点で興味や関心を持っていただきたいと願っています。

受け入れ側の目線

久住が大好きで、40代後半にふるさとに帰ってきました。今後は、教員時代の経験を活かして学校団体の受け入れもお手伝いさせていただければと思っています。過疎地の人口が減少していく中で、最も危惧するのは自然環境の変化にヒトの手が回らない現実です。山は次第に荒れていき、希少な高山性植物も生息場所が減少しています。お客様のご要望で高原散策や登山のガイドを努めていますが、そうしたお話しもさせていただきながら、目だけでなく耳や鼻、手のひらの感触など「五感を使った自然体験」を行っています。

久住高原みちくさ案内人倶楽部　理事長　上好 温

（経歴）
久住町出身。長年、県立高等学校で教鞭を取り、退職後にエコツアーガイドを始める。久住高原の自然・文化・歴史を次の世代へと継承・発展させる活動や、自然と人とのかかわりを見つめ直すなどの活動を通じて、久住高原及びくじゅう山系の自然環境保護・保全に貢献することを目的に平成17年にNPO法人久住高原みちくさ案内人倶楽部を設立し、現在26名のメンバーと活動中。平成21年には、農家民泊も開業し、登山客や各種団体の受け入れも行っている。環境省指定自然観察員。

久住高原を歩く

なだらかな久住高原を歩きながら、四季折々の希少植物や自然の仕組みなどを観察しながらガイドするエコツアーです。修学旅行シーズンの春にはキスミレやハルリンドウ、オキナグサ、ワラビ、ゼンマイなどが見られ、秋にはススキやリンドウ、カワラナデシコなどを鑑賞出来ます。いずれも野焼きによって保全されている生態系です。他に祖母の原生林を歩くコースもあります。

お問い合わせ：竹田市観光ツーリズム協会
〒878－0011 大分県竹田市大字会々2250－1
電話 0974－63－0585
湯布院ICから久住高原までやまなみハイウェイ経由で約1時間

久住登山

久住山は、くじゅう連山を形成する火山で、中岳、三俣山などとともにくじゅう山系と呼ばれる山塊をなしています。最高峰の中岳は1791m。九州本土一の高さで、高山植物の宝庫です。ふもとはミズナラやリョウブ、コシアブラの大木が覆う森林で、中腹はドウダンツツジやコミネカエデといった群落、山頂近くではミヤマキリシマやコケモモの群落といった具合に高さで異なる植生を見ることが出来ます。

お問い合わせ：竹田市観光ツーリズム協会
〒878－0011 大分県竹田市大字会々2250－1
電話 0974－63－0585
湯布院ICから久住高原までやまなみハイウェイ経由で約1時間

九州電力大分支店　八丁原発電所

国内最大の地熱発電所で、年間800，670MWhを発電しています。これは世帯数に換算すると約222，000世帯もの消費電力に相当します。同施設では、マルチ映像上映（約30分）と屋外施設及びタービン建屋見学（約30分）が可能です。　大ホールは90名まで、小ホールは45名まで入場可能です。

〒879－4912 大分県玖珠郡九重町大字湯坪字八丁原601
電話 0973－79－2853
大分自動車道九重ICから車で約40分

班別自主見学にお薦め

地獄蒸し工房　鉄輪（かんなわ）

別府市の鉄輪温泉では、江戸時代より高い温泉熱を利用した“地獄釜”と呼ばれる蒸し料理の文化が根付いています。地獄蒸し工房では、地獄釜の貸し出しを行っており、持ち込んだ食材で手軽に地獄蒸し料理を体験することができます。釜の数は15ありますが、予約は受け付けておりませんので、1クラス又はグループ単位での自主見学でのご利用がお薦めです。

〒874－0044 大分県別府市風呂本5組
電話 0977－66－3775
大分自動車道別府ICから車で約10分

特に人数制限はなし

長者原ビジターセンター

四季折々のくじゅう連山の魅力を楽しく学べるミニ博物館。森の木や植物を模型や標本、写真、映像などで紹介。隣接する「タデ原湿原」は2005年にラムサール条約に登録された重要な湿原地帯です。自然に負荷を与えない研究路が整備されており、自由に散策が可能です。（1周：約2．5キロ、所要時間：約30分）

〒879－4912 大分県玖珠郡九重町大字田野
電話 0973－79－2154
大分自動車道九重ICから車で約30分（やまなみハイウェイ沿い）

北九州市との連携コース（環境学習をより効果的に実践する為に）

九州の玄関口・北九州市は、近代製鉄発祥の地であり、車やロボットなどの重工業製品から、石鹸や衛生陶器のような身近な生活用品にいたるまで、現在も多くのモノづくりの先進都市として発展を続けています。　一方で、1960年代に顕在化してきた大気汚染や水質汚濁などの環境問題に、地域住民が苦しみ始めます。子どもたちの顔が煤で汚れ、洗濯物は黒ずみ、ぜんそくなどの健康被害もあらわれました。そのため被害の大きかった城山小学校（現在の八幡西区）は、とうとう廃校になりました。最初に婦人会が立ち上がり、行政も条例制定や下水道・緑地などの環境インフラ整備に着手を始めます。一方、1969（昭和44）年5月スモッグ警報が発令されると、公害がマスコミに大きく取り上げられ、産・学・官と市民が一体となって公害防止に全力をあげることとなりました。また、大学においても公害分野の研究が進められるなど、北九州市の公害は、市民の動きを契機として産学官が一体となって乗り越えた先進的な事例だったのです。

「七色の空」、「死の海」と呼ばれた当時の上空大気と洞海湾

市民・企業・行政で取り戻した現在の青い洞海湾